

# FISHING トピック No.42

## ヘイケガニ

9月に入っても30℃を超える日が続いていますね！早く涼しくならないかなあと思っていると…夏の終わりを告げるツクツクボウシの鳴き声が聞こえてきました。秋はもうすぐそこまでやって来ているようです。暑さに負けず整備をしていると黒いヘビが日光浴をしていました。カラスヘビ（シマヘビの黒化型）のようです。シマヘビは背中に4本の縦縞があるのが特徴のヘビですが、色彩変異で全身が真っ黒になることがあります。ここ数日の間にヘビとの遭遇が多発。みなさんも出会うことがあるかもしれませんが、ヘビを見つけても触らないようにしましょう。毒がなくても細菌を持っていることがあります。噛まれると感染症を引き起こすことも…。



さて、大積干潟で珍しいカニを見つけたと北九州市立水環境館のスタッフ「かいくん」が持って来てくれました。甲羅が怒った顔のように見える「ヘイケガニ」です。甲羅の模様にはある伝説があります。それは…源氏と平氏の戦いの最終決戦となった壇ノ浦の戦いで敗れて海に散った平氏の無念や怨念が甲羅に乗り移ったという伝説です。【ヘイケガニの伝説を紙芝居で見よう！】瀬戸内海や九州沿岸の10～30mほどの場所に暮らしているカニで稀に（数年に1度程度）干潟や磯場で姿を見かけます。産卵時期は夏から秋とされているため、今回発見したヘイケガニは産卵に浅瀬にやって来ているのかもしれませんが。もしかしたら、海が荒れていたので流させて来ただけかもしれませんが…。普段は短い歩脚で貝殻や木切れを背負って身を隠しています。海に遊びに行った際に貝殻や木切れがのそのそと動いていたら捕まえてみてください。もしかするとヘイケガニかもしれませんよ！

作成日：令和5年9月3日